

規模と配置を検討する学校・地域の公表について

〔平成24年5月公表〕

「板橋区立小・中学校の適正配置に関する基本方針」に基づき、学校規模に関する課題について検討を行う学校を公表する。

望ましい規模を下回り早急な対応を要する学校

大山小学校	入学児童数の減少が続き、小規模化が進んでいます。 過小規模や複式学級は学校規模に起因する課題が多く、学校教育としての役割を十分に果たすことが難しくなる。課題の根本的な原因である学校規模について、子どもたちの教育環境の充実の視点から検討を進める。	
	現状	◇平成21年度以降、通常学級は6学級規模が続いている。 現在は通常学級 6学級 62名 特別支援学級 3学級 24名 ◇平成24年度入学者は1名。平成25年度に2・3年生で複式学級となる児童数。(平成24年度：1年生1名・2年生5名)
	留意点	◇特別支援学級への配慮 ◇適切な検討期間の設定

情報提供や意見交換等を必要とする地域

「検討する学校・地域の公表」の前段階として、下表の地域周辺の動向把握や学校、保護者、地域への情報提供等を行う。

大規模化が進む地域

志村地域の小学校	大規模集合住宅の建設等により、地域内の小学校の教室数が将来的に不足するおそれがある地域 大規模集合住宅建設計画が進んでいることから、地域を一体的に捉えて地域内の小学校の学校規模を考える必要がある。 〔現状及び留意点〕 ◇教室数に余裕がない学校と余裕のある学校が混在する状況。 ◇大規模集合住宅建設の予定。
----------	---

学校が密集し小規模化が進んでいる学校を含む地域

板橋第三中学校エリアの小学校	学校が密集し小規模化が進行している小学校があります。 小学校が密集しているという特徴のある地域であり、各校の通学区域内人口に大きな差はないものの、学校規模に差が生じている。 〔現状及び留意点〕 ◇小学校が密集し、各校の通学区域内人口が少ない。 ◇板橋第一小学校は改築中であり、平成24年度入学は学校選択抽選校。 ◇板橋第八小学校は地域センター区域内唯一の学校。
----------------	--

◇他の単学級校や大規模校については、学級数及び生徒数を勘案し、別途検討する。